



いわき市医療センターまでの水道管が地震に強くなりました

水道局では、災害時でも確実に給水するため、救急医療機関や人工透析病院などを重要給水施設に位置付け、優先的に施設までの水道管の耐震化を進めています。

いわき市医療センターを含め16施設の水道管耐震化が完了し、今後も計画的に進めていきます。

水道管の耐震化が完了した重要給水施設一覧		
完了年度	施設名	
平成28年度以前	ニュータウン腎・内科クリニック	かもめクリニック
	福島県立平支援学校	福島県いわき海浜自然の家
	中央台市民サービスセンター	平消防署 中央台分遣所
	小名浜消防署 江名分遣所	平消防署 川前分遣所
	久之浜・大久支所	川前支所
平成30年度	松村総合病院	
令和元年度	かしま病院	
令和4年度	いわき市医療センター	ときわ会常磐病院
	大河内記念病院	小川支所

令和13年度までの完了予定について、詳しくは水道局ホームページでご確認ください。



(いわき水みらいビジョン2031 第7章 104ページ)

お問い合わせ 配水課 建設係 TEL 22-9382



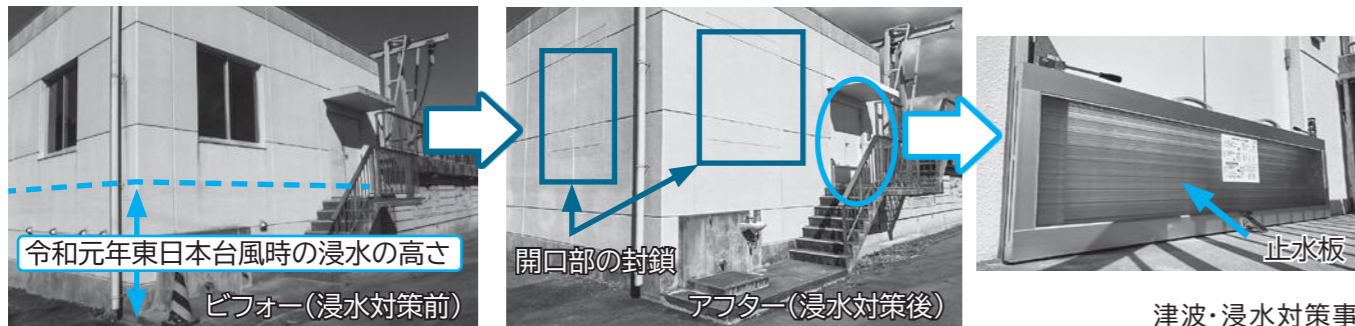
下平窪取水場の浸水対策が完了しました

水道局では、津波や大雨などによる河川の氾濫が発生した場合でも確実に給水するため、計画的な津波・浸水対策を進めています。

令和元年東日本台風の影響で浸水被害を受けた「下平窪取水場」について、止水板の設置や防水扉への交換、窓などの開口部の封鎖を実施しました。

今年度は、浄水場^{*}などの施設の浸水対策を進めていきます。

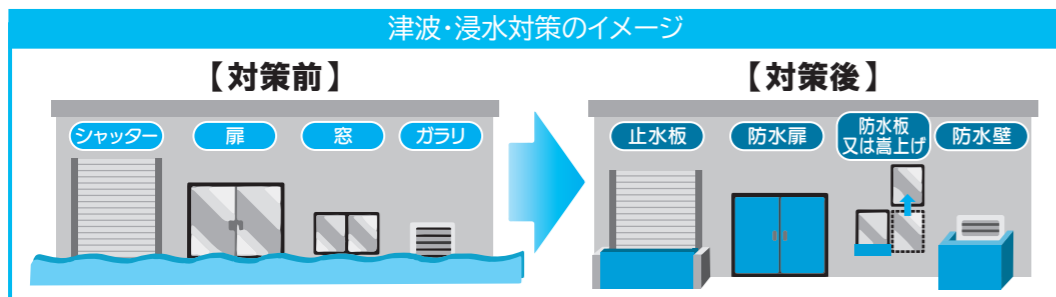
^{*}浄水場の浸水対策は、すいどういわき第78号でお知らせしています。



津波・浸水対策事業の年次計画について、詳しくは水道局ホームページでご確認ください。



(いわき水みらいビジョン2031 第7章 99ページ)



お問い合わせ 浄水課 浄水施設係 TEL 22-9320



令和5年度 水道事業会計予算のあらまし

水道局では、新たな経営計画として、令和4年1月に「いわき水みらいビジョン2031」(令和4(2022)年度～令和13(2031)年度)を策定しました。

その基本理念である「未来に引き継ぐいわきの水道」～安全でおいしい水を必要なだけ～の実現を目指し、令和5年度の予算を次のとおり編成しました。

予算のポイント
「いわき水みらいビジョン2031」に掲げる目指すべき3つの将来像の実現に向けて、取り組んでいきます。

3つの将来像

【安全な水道】

安全

事業費 8,135万円

定期的な放射性物質のモニタリング検査や、水道水源の水質汚濁防止のための浄化槽設置者への補助金の交付などにより、安全でおいしい水道水を供給します。

【強靱な水道】

強靱

事業費 64億324万円

古くなった水道管等の取替えや、非常時における安定給水の確保に向けた基幹浄水場間の連絡管の整備などにより、最適で災害に強い水道システムを構築します。

【水道サービスの持続】

持続

事業費 1億4,452万円

水道電算処理システムの改善とICTを活用した業務の効率化や、人材育成の充実による組織力の強化、分かりやすい広報活動などにより、持続可能な経営基盤を確立します。

3つの将来像 事業費計 66億2,911万円

▶水道事業は、「収益的収支」と「資本的収支」の2本建ての会計になっています。

収益的収支
(水道料金等の収入と水道水をつくり送り届けるための費用など)

収入 90億1,647万円 (消費税抜き)	支出 89億1,302万円 (消費税抜き)
お客さまからの水道料金(給水加入金を含む) 80億5,736万円	施設の減価償却費など(非現金支出 [*]) 39億6,330万円
その他 9億5,911万円	借入金の支払利息 3億6,025万円
	人件費 10億6,112万円
	委託料や修繕費など 35億2,835万円

純利益 1億345万円

資本的収支
(建設改良^{*}のために調達した資金と建設改良のための費用など)

収入 35億974万円 (消費税込み)	支出 89億1,126万円 (消費税込み)
国からの借入金など 22億9,170万円	施設などの建設改良費 64億8,473万円
市からの繰入金 8億6,411万円	借入金の返済 23億3,653万円
その他 3億5,393万円	予備費 9,000万円

収支不足額 54億152万円

資本的収支の不足額については、純利益や減価償却費などの企業内部に蓄えられた資金(内部留保資金)などで補てんします。

予算について、詳しくは市ホームページでご確認ください。
【令和5年度当初予算説明書(企業会計)】

^{*}1 施設建替えや水道管取替えなど

^{*}2 外部に対する支払いを伴わないため、この分の現金は企業内に蓄えられ、資本的収支の建設改良事業等の財源となります。

お問い合わせ 経営戦略課 財務係 TEL 22-9313